

海外安全対策情報第4四半期（10～12月）

在ブルガリア日本国大使館

1 社会・治安情勢及び一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

- （1）ブルガリアの犯罪発生件数は近年減少傾向にありますが、2015年の犯罪発生状況を日本と比較すると、ブルガリアで強盗・窃盗被害に遭う割合は日本の約14倍にも上ります。

首都ソフィアでは観光名所にもなっているマーケット、バスやトラム等の公共交通機関でのスリ、ひったくりが多発しており、特に注意が必要です。

12月には、邦人旅行者が現金15万円を盗まれる被害が1件発生しています。外出時は常に防犯意識を高く持ち、多額の現金を持ち歩くことは避ける等、貴重品の管理には十分注意して下さい。

- （2）冬季に入り、降雪の影響で主要幹線道路での多重衝突事故が多発しています。車両を利用しての旅行を計画している場合には、気象情報をよく確認し、不要不急の外出は避けましょう。万が一故障や事故が発生した場合に緊急連絡先等も事前に確認しておきましょう。

2 テロ・爆弾事件発生状況

テロ・爆弾事件は発生していません。

また、治安当局も差し迫った具体的な脅威は認められないと分析・発表しているものの、トルコやドイツでのテロ発生を受けて年末年始は国内テロ脅威度評価を3段階中の第2段階にあたる”黄色（注意）”としています。特に、空港やショッピングセンター、スキー場等不特定多数の外国人が集まる場所での警戒警備を強化しています。

3 誘拐・脅迫事件発生状況

邦人が被害に遭った事件は認知していません。

4 日本企業の安全に関する諸問題

対日感情は基本的に良好で、特段の問題点は報告されていません。

以上